

新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略 少子化対策部会（案）対照表

修正後（案）	少子化対策部会（たたき台）：第1回会議
<p>● 基本目標 ライフステージに<u>応じた一貫した支援による少子化の克服</u></p> <p>● 数値目標（5年後の数値） <u>（1）住んでいる地域の子育て環境や支援の満足度を3.5に向上（平成25年度2.9）</u></p> <p><u>（2）夫婦の理想の子ども的人数（2.55）と実際にもつつもりの子ども的人数（2.23）の差（0.32）を縮小</u></p> <p>● 基本的方向 <u>（1）子どもは社会の宝であるとの認識を地域や企業と共有するとともに、地域力・市民力を活かしながら、若い世代が希望どおりに結婚し希望する人数の子どもを産み育てられるよう、様々な支援を行います</u></p> <p><u>（2）結婚や子育てを希望する若い世代のライフデザインをかなえるとともに、仕事と家庭生活や地域活動などが両立でき、男女がともに健康で充実した生活をおくれるよう、企業と連携し、意識啓発と環境づくりを進めます</u></p> <p><u>（3）子どもたちが地域への愛着と誇り（シビックプライド）を持つよう、学校や地域で取り組みを進めるとともに、市内の大学など学びの場の魅力向上を支援し、進学・就職のタイミングでの流出を抑制し、流入を増やします</u></p>	<p>● 基本目標 ライフステージを通じた一貫した支援による少子化の克服</p> <p>● 数値目標（5年後の数値）</p> <p>（1）理想の子ども的人数と実際にもつつもりの子ども的人数の差 ：●人</p> <p>（2）出生数：5年間で●●人</p> <p>（3）男性の育児休業取得率：●●%</p> <p>（4）年次有給休暇取得率：●●%</p> <p>（5）合計特殊出生率：5年後に●●%</p> <p>● 基本的方向</p> <p>（2）若い世代が希望どおりに結婚し希望する人数の子どもを産み育てられるように、子どもは社会の宝であるとの認識を地域や企業と共有し、地域力・市民力を結集し、連携する</p> <p>（3）企業と連携し、意識の啓発を進め、仕事と家庭生活や地域活動などを両立することができ、男女がともに健康で充実した生活をおくる</p> <p>（1）子どもたちがシビックプライド（地域への愛着と誇り）を持つとともに、進学・就職のタイミングでの若者の流出を抑制し、流入を増やす</p>

● **具体的な施策**

(ア) 結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、切れ目のない支援を実施

- ① 結婚を希望する男女の出会いの創出
- ② 安心して妊娠・出産ができる支援体制の強化
- ③ 子育て支援のより一層の充実
- ④ 結婚・出産・子育てなどライフデザインを考える機会の提供

(イ) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進（働き方の改革）

- ① 若い世代の結婚や出産の希望をかなえる雇用労働環境の向上
- ② 子育てや地域活動等への参画を容易にする働き方の推進
- ③ 女性が望む多様な働き方の支援
- ④ 男性の家事・育児を促進

(ウ) 新潟らしい教育の推進

- ① 新潟の良さを伝え、新潟への愛着を育む教育の推進
- ② 新潟で子どもを育てたいと思える教育環境の整備

(エ) 地元の大学等への進学、地元企業への就職の促進

- ① 大学の魅力向上への取り組みを支援
- ② 地元大学等への進学しやすい環境整備
- ③ 地元企業への就職の促進

● **具体的な施策**

(ウ) 出会いの場づくりから結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

- ① 地元での結婚に関する啓発による婚姻率の向上
- ② 子どもたちを安心して産み育てられるよう、切れ目のない支援の実施（新潟市版ネウボラ）

(エ) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進（働き方の改革）

- ① ワーク・ライフ・バランスの推進を経済界に要請、また優良企業の認定・表彰などを通じて、企業における仕事と家庭の両立支援を促進
- ② 女性の活躍を促進
- ③ 男性の家事・育児参加を促進

(ア) 新潟らしい教育の推進

- ① 自分の力に自信をもち心豊かな子どもを育む学校教育
- ② 創造力と人間力を高める生涯学習の推進
- ③ 新潟らしい教育の推進・自立し開かれた学びの支援

(イ) 新潟市内の大学等の魅力向上を図る

- ① 大学の魅力向上を図り、本市内大学への進学を促進
- ② 本市内大学等への進学にインセンティブを付与し、進学時の転出を抑制し、転入を促進
- ③ 就職活動時から就職時までの一貫した支援により、新潟市内での就職を促進